



まちだの新たな
学校づくり

Machida New Concept School 2040

町田第三中・山崎中統合新設中学校 意見交換会

2025年11月8日(土)・9日(日)・12日(水)
学校教育部新たな学校づくり推進課



資料 電子版

次第

- 1 新たな学校づくり推進計画
- 2 町田第三中・山崎中の統合について
- 3 学校統合に向けた取り組み

1-1 新たな学校づくり推進計画策定の背景

1970～2019年

1960～70年代 学校大量建設
1980年代 児童・生徒が過去最大
2000年代 学校統合時代



2020～2021年

ICTの積極的活用
英語の教科化
教員の多忙化
地域と学校の協働



2022～2040年

～2040年 児童生徒数が約30%減少
2024～2044年代 築60年を超える学校が続出



(1) 児童・生徒数の急激な減少

(2) 学校施設の老朽化・
施設整備費の高騰

(3) 教育環境の変化

(1) 児童・生徒数の急激な減少

2020年度と2024年度の児童・生徒数推計の比較



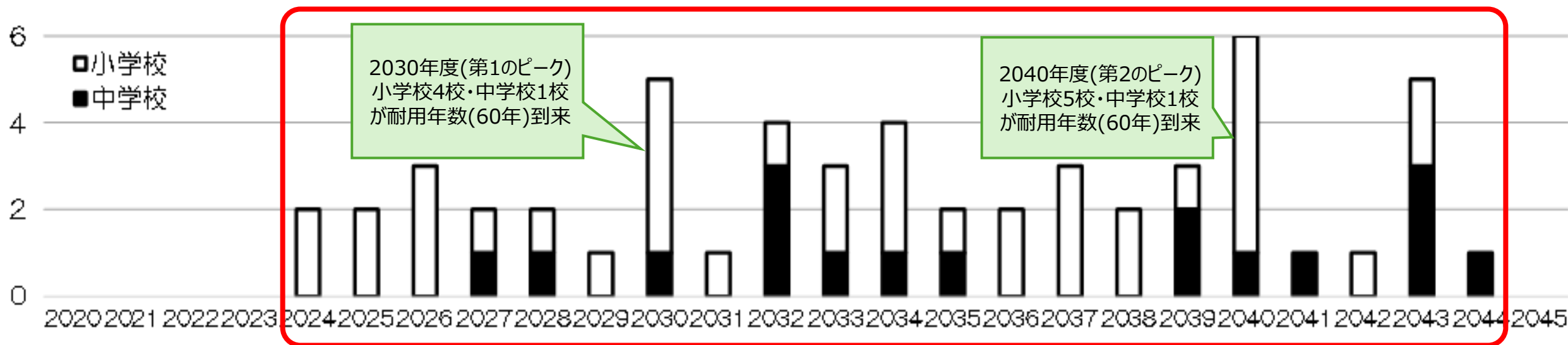
計画策定時に実施した、
**2020年度児童・生徒数推計を上回るペースで、
児童・生徒数の減少が進んでいる**

2020年度推計と2024年度推計における
児童数・生徒数の減少割合（2020→2040）

	2020年度推計		2024年度推計
児童数	約30%減	→	約33%減
生徒数	約32%減		約35%減

(2) 学校施設の老朽化・施設整備費の高騰

町田市立学校施設の耐用年数（60年）の到来時期（2020～2045年度）



2044年度までに築60年が到来する学校が**62校中55校**。

2024～2044年度（21年間）は、
1年あたり平均2.62校が耐用年数(60年)到来

市内すべての小・中学校を統合することなく、建替え・改修等を行うためには、

2021年度から2055年度までに**約3,075億円**（2021年5月計画策定時点）が必要と試算。

⇒**市内全ての学校施設を維持しながら教育環境を充実させることが困難**

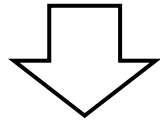
2021年度の計画策定以降、急激な施設整備費の高騰が生じている。

2021年度から2055年度までの建替え・改修に係る費用の試算

※2024年度教育委員会試算

学校統合をしない場合

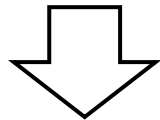
2021年度
(計画策定当初) 約3,075億円



2024年度 ※ **約6,980億円 (約2.3倍)**

学校統合をした場合

2021年度
(計画策定当初) 約2,540億円



2024年度 ※ **約4,540億円 (約1.8倍)**



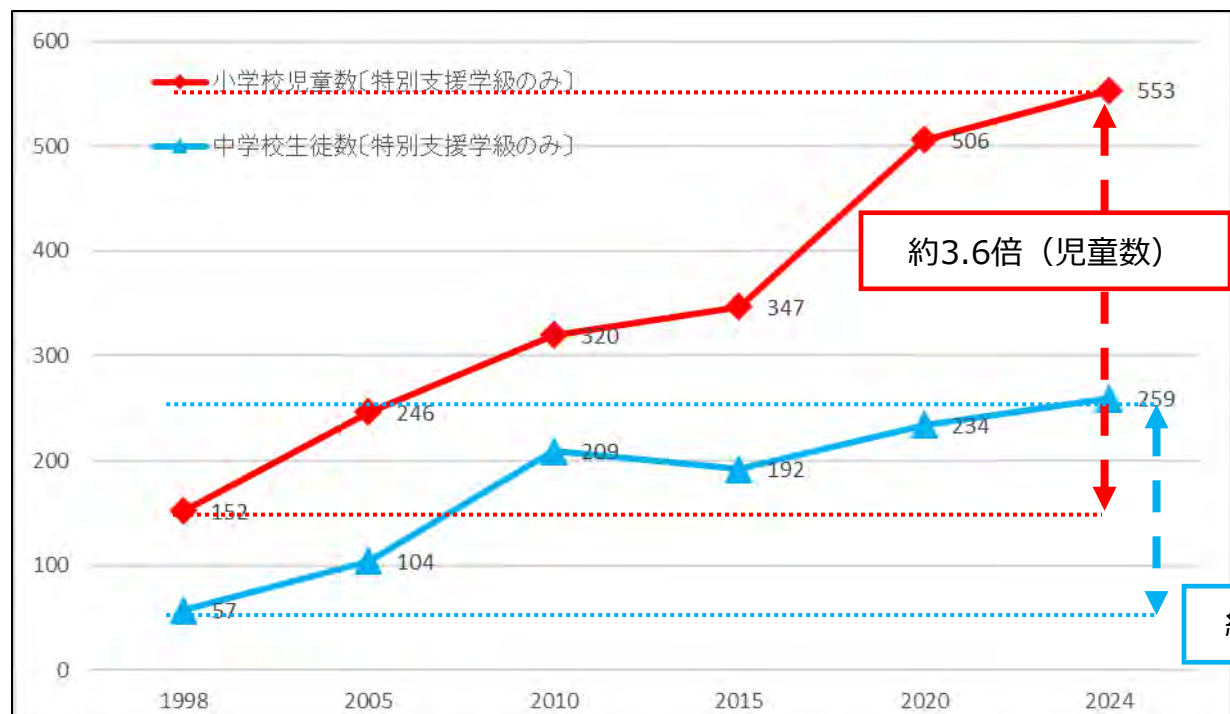
(3) 教育環境の変化

●学習指導要領の改訂

- ・主体的・対話的で深い学びの視点から、「どのように学ぶか」を重視した授業改善へ
- ・将来の教育内容及び方法等の変化を予測することは困難

⇒**教育内容や環境変化に柔軟に対応できる学校づくりが必要**

●特別支援学級の環境整備

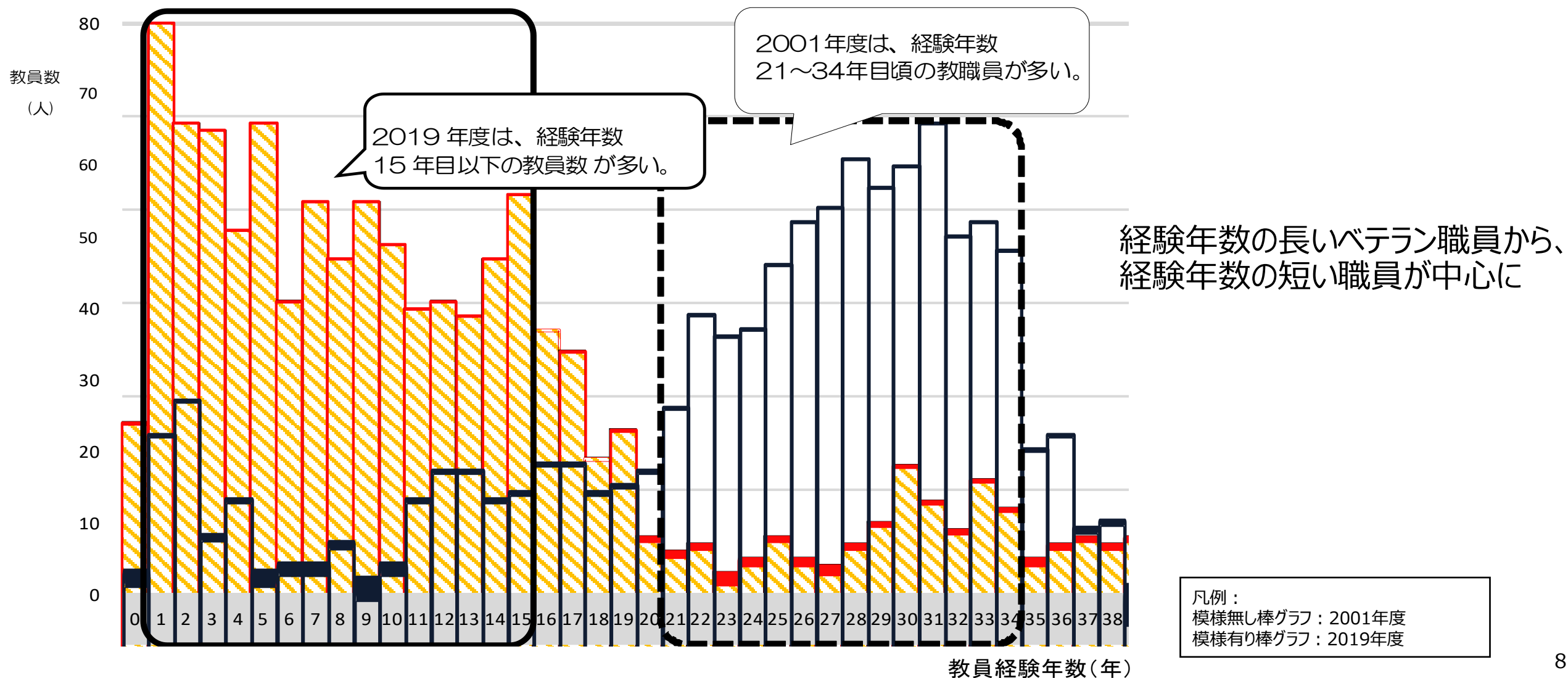


多くの学校では、設計した時点で特別支援教育を想定していない

⇒**余裕教室等を活用する場合が多く、
教室数・広さ・配置等に十分な配慮
ができていない**

●学校を支えるチーム体制の推進

図：町田市立小学校教員 経験年数別教員数の分布比較（2001年度→2019年度）



1-2 新たな学校づくり推進計画

目的

- 将来の変化を予測することが困難な時代への対応
- 環境変化や学校教育にかかる諸制度の改正への対応
- 町田に生まれ育つ未来の子どもたちが夢や志をもち、未来を切り拓くために必要な資質・能力を育む

⇒これらの実現に向けて教育環境を整備する



町田市立学校の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方

「町田の未来の子どもたち」の視点に立つ

- 10年後、20年後に町田に生まれ育つ未来の子どもたちのために、ソフト・ハードの両面からより良い教育環境をつくる
- 学校統合は目的ではなく、学校を取り巻く環境変化を踏まえて、より良い教育環境をつくるための手段



適正規模の基本的な考え方

小学校と中学校の望ましい学級数の設定

- 小学校 **1 学年あたり 3 ～ 4 学級**（1 校あたり18～24学級）
- 中学校 **1 学年あたり 4 ～ 6 学級**（1 校あたり12～18学級）



適正配置の基本的な考え方

次の5つの項目を総合的に検討し、新たな通学区域と学校の位置を決定

- | | |
|------------------------|---|
| (1) 通学時間及び通学距離 | 通学時間の許容範囲…おおむね 30分程度 を目安
通学距離の許容範囲…徒歩でおおむね 2km程度 を目安 |
| (2) 安全な通学環境 | 通学路の点検や地域との連携による見守り活動
子どもたちへの安全教育の実施 |
| (3) 地域社会との関係 | 原則として町区域に基づく学区域とする
地域コミュニティにおける様々な活動との関係 |
| (4) 小・中学校区の整合 | 1つの小学校から複数の中学校へ分かれて進学することが無いようにする |
| (5) 通学区域内における
学校の位置 | 児童・生徒の通学のしやすさ
ゆとりある教育環境の整備
学校施設の老朽化の現状 |

地域活用型学校について

市民生活の拠点づくりを目指す

Ⅱ

「地域活用型学校」

- 有事の際の防災拠点である
- 多様な人々がつどい、スポーツ・生涯学習・地域活動等を通じて交流し活動する
- 子どもが放課後に、学習や創作活動などの活動ができる
- 多機能化や複合化、愛着ある地域拠点施設とする

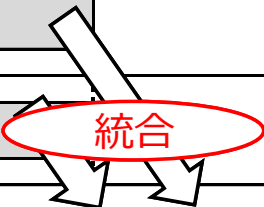


➡ 学校を学校教育の場というこれまでの考え方にとどめず、新たに「地域活用型学校」として位置づけ、より広く市民が利用できる場にする

2 町田第三中・山崎中の統合について

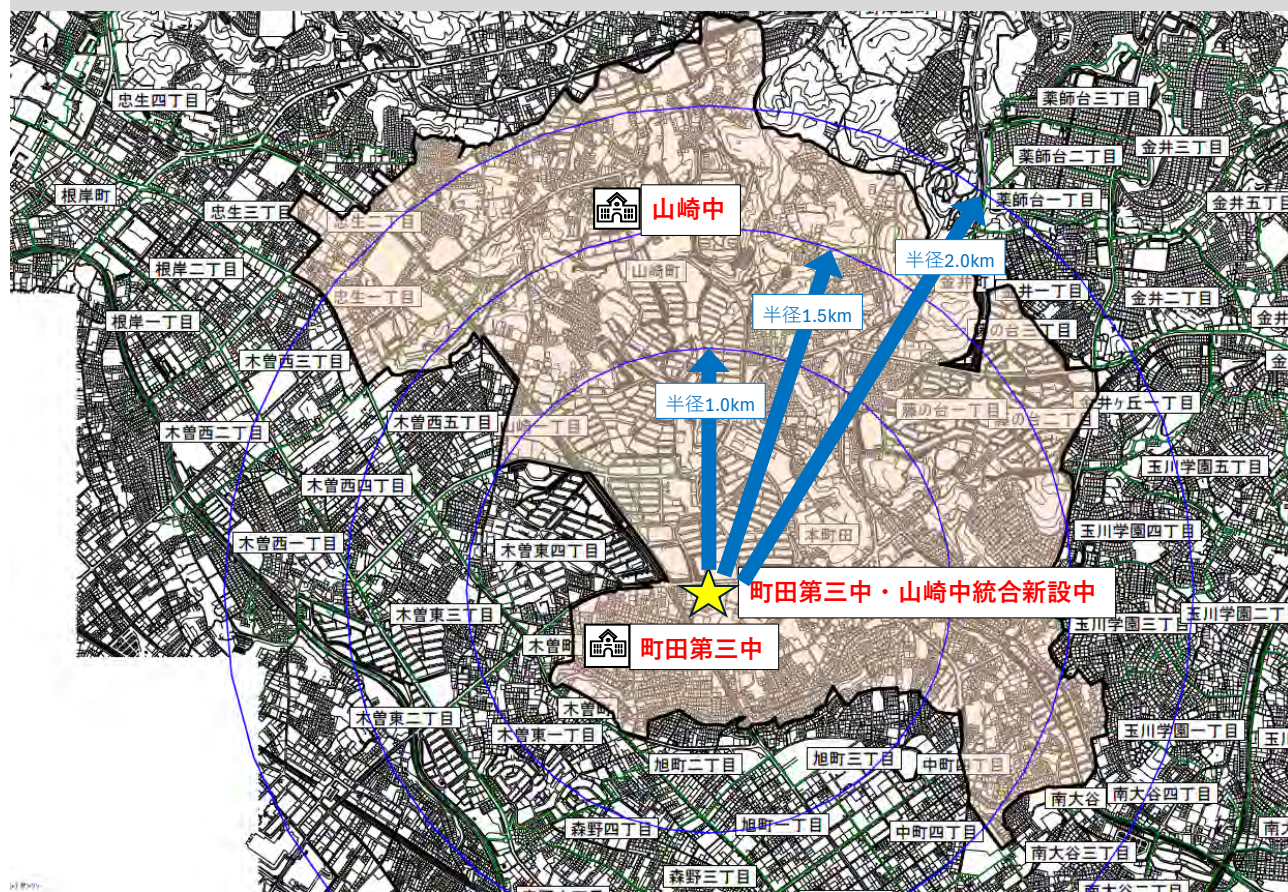
(1)統合スケジュール

		8年前 25年度	7年前 26年度	6年前 27年度	5年前 28年度	4年前 29年度	3年前 30年度	2年前 31年度	1年前 32年度	【統合】 33年度
統合に向けた準備・検討		意見交換会	基本計画 検討会	新たな学校づくり基本計画推進協議会						
対象校等	町田第三中学校			既存校舎						
	山崎中学校			既存校舎						
	旧本町田小学校用地	本町田ひなた小学校			校舎解体及び新築工事					
対象学 齢 早 見 表	2012.4.2～2013.4.1生まれ	中1	中2	中3	－	－	－	－	－	－
	2013.4.2～2014.4.1生まれ	小6	中1	中2	中3	－	－	－	－	－
	2014.4.2～2015.4.1生まれ	小5	小6	中1	中2	中3	－	－	－	－
	2015.4.2～2016.4.1生まれ	小4	小5	小6	中1	中2	中3	－	－	－
	2016.4.2～2017.4.1生まれ	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	－	－
	2017.4.2～2018.4.1生まれ	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	－
	2018.4.2～2019.4.1生まれ	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
	2019.4.2～2020.4.1生まれ	－	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2
	2020.4.2～2021.4.1生まれ	－	－	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1

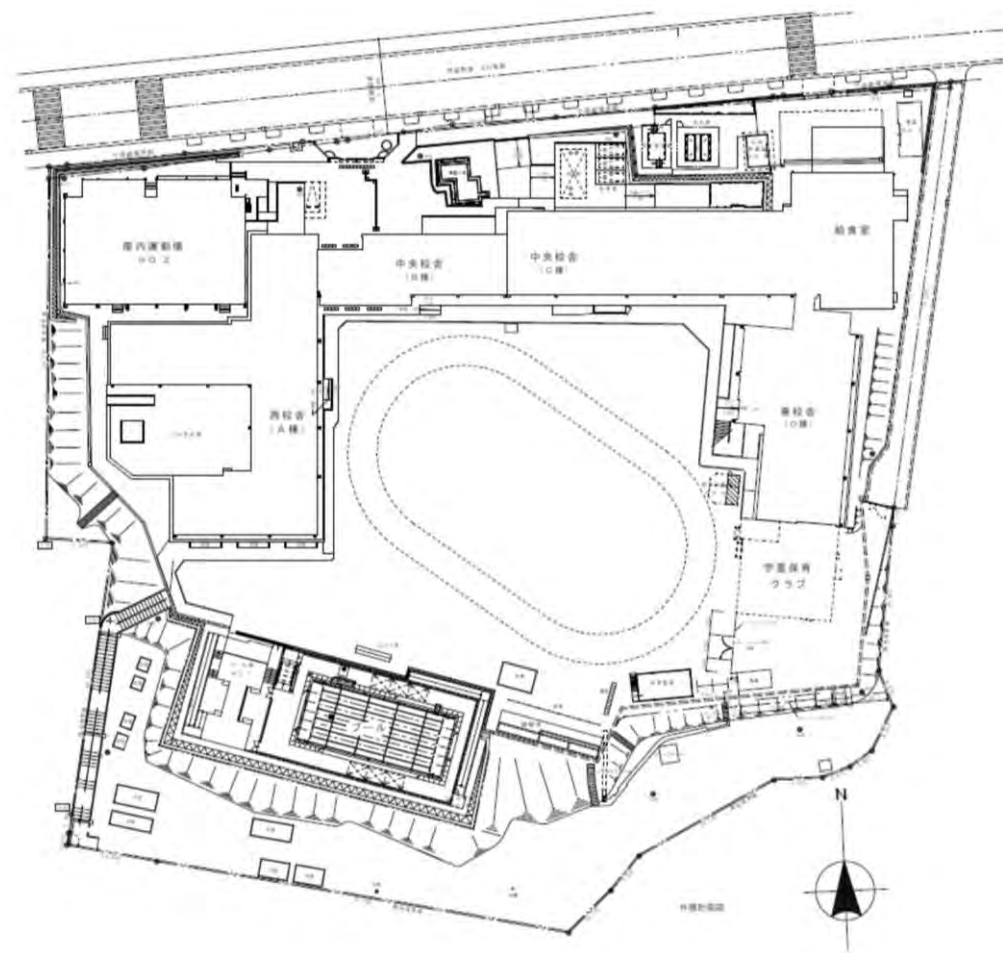


(2) 学校の候補地について

2033年度～(新校舎移転後の通学先)



学校候補地平面図 (現：本町田ひなた小学校)

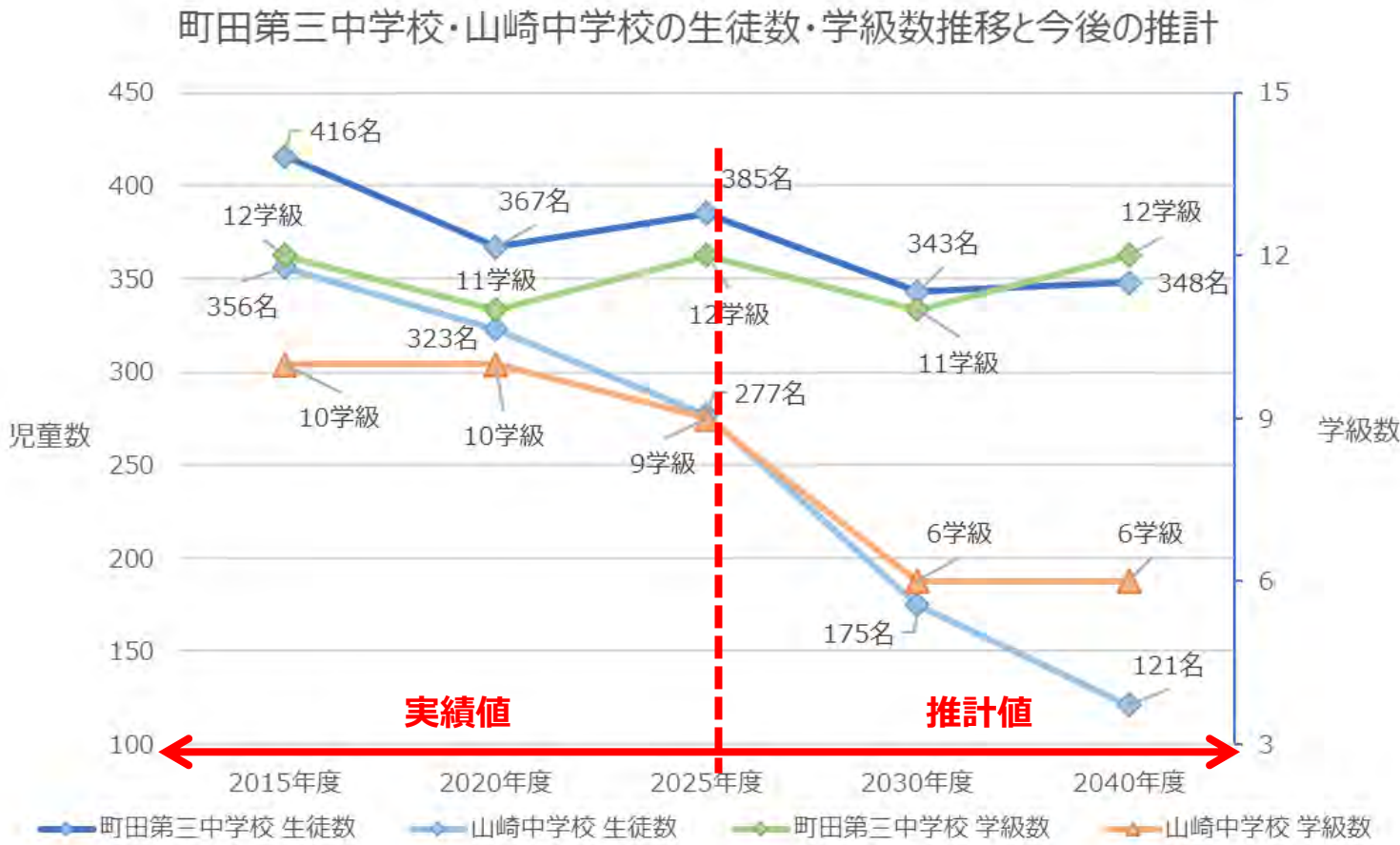


敷地面積 17,509㎡ 平地面積 13,238 ㎡
 └─ 建物用地 8,068 ㎡
 └─ 運動場 5,170 ㎡
 崖地面積 4,271 ㎡

(3)生徒数・学級数について

学校名	通常の学級 生徒数（学級数）		特別支援学級 生徒数（学級数）	
	2025年度	2033年度	種別	2025年度
町田第三中学校	385(12)	515(16)	情緒障がい学級	25(4)
山崎中学校	277(9)		知的障がい学級	19(3)

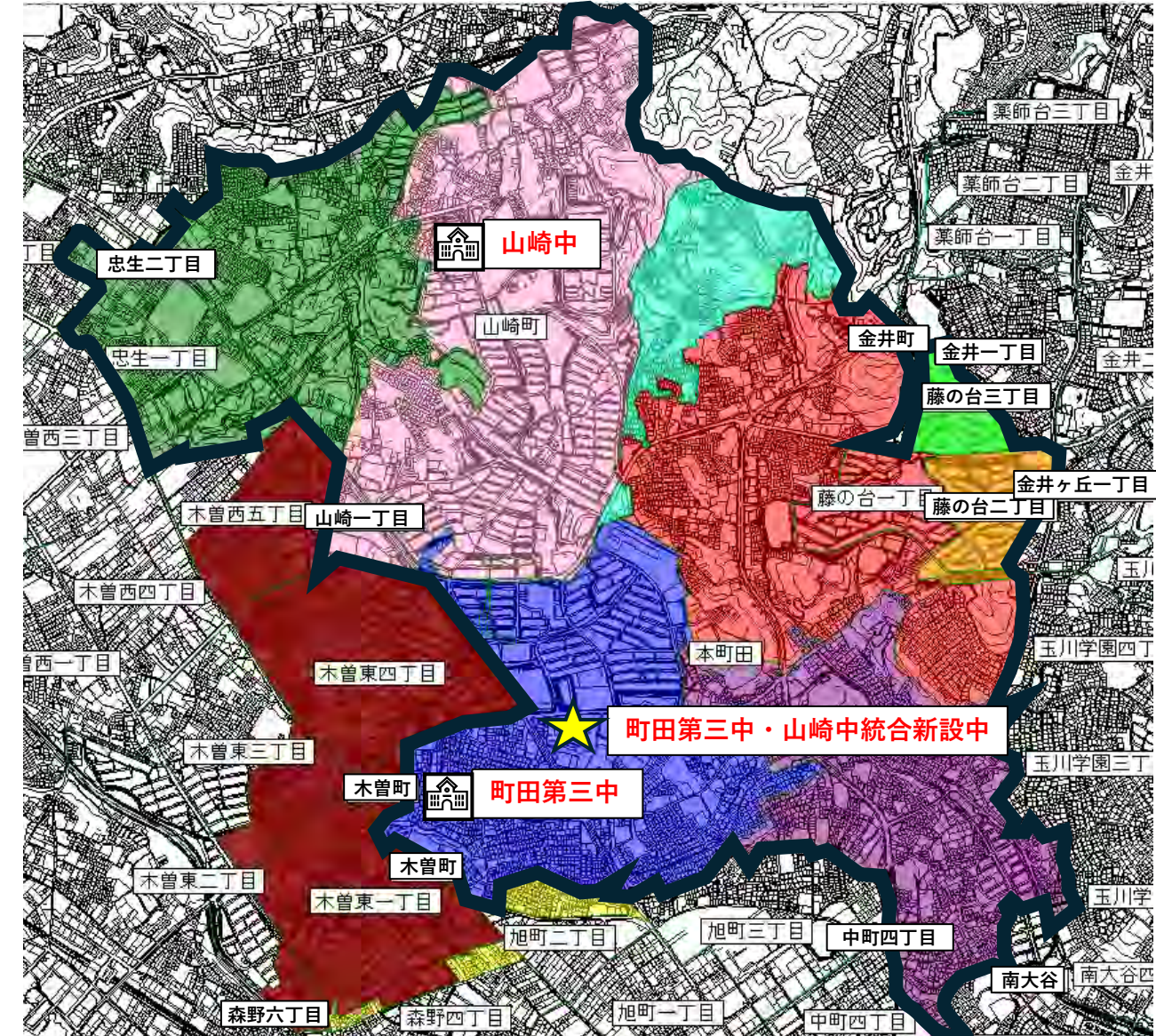
※「2025年度」は4月7日時点の児童数と学級数です。
 ※「2033年度」は2024年度に行った児童数・学級数推計です。



3-1 通学に関すること

(1)新しい通学区域について

【在校生は在籍校に卒業まで通学できます。転校の必要はありません！】
中学校の在学期間中に通学区域が変更になる場合は、変更後も在籍校（統合する場合は在籍校が統合してできる新設校）に引き続き通学することになります。



★黒枠は「町田第三中・山崎中統合新設中学校」の最終的な通学区域です

2025年度の中学校	町区域	変更年度	変更後の通学先	地図
町田第三中学校	・森野4丁目（一部） ・森野6丁目（一部） ・旭町2丁目（一部）	2026年度	町田第一中学校	
	・本町田（一部）	2033年度	町田第三中・山崎中統合新設中学校	
	・木曽町 ・木曽西5丁目（一部） ・木曽東1丁目 ・木曽東2丁目（一部） ・木曽東3丁目（一部） ・木曽東4丁目	2026年度	木曽中学校	
山崎中学校	・山崎町（一部） ・山崎1丁目	2033年度	町田第三中・山崎中統合新設中学校	
町田第一中学校	・本町田（一部）	2029年度	町田第三中学校	
		2033年度	町田第三中・山崎中統合新設中学校	
薬師中学校	・本町田（一部） ・藤の台1丁目	2026年度	町田第三中学校	
		2033年度	町田第三中・山崎中統合新設中学校	
		2028年度	薬師・金井地区統合新設中学校	
	・藤の台3丁目 ・山崎町（一部）	時期未定※	町田第三中・山崎中統合新設中学校	
		2026年度	山崎中学校	
		2033年度	町田第三中・山崎中統合新設中学校	
金井中学校	・本町田（一部） ・藤の台2丁目	2028年度	薬師・金井地区統合新設中学校	
		2029年度	町田第三中学校	
		2033年度	町田第三中・山崎中統合新設中学校	
忠生中学校	・山崎町（一部） ・忠生1丁目 ・忠生2丁目（一部） ・忠生3丁目（一部）	2036年度	町田第三中・山崎中統合新設中学校	

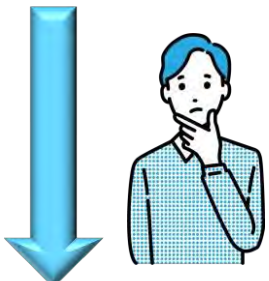
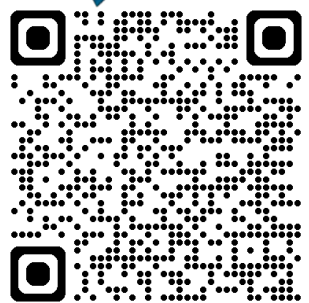
※通学区域の変更年度を「時期未定」としている町区域については、2033年度以降に改めて社会環境の変化を踏まえた実現可能性を検討いたします。

(2)学区外通学制度について（入学前年度に申請が必要）

指定校以外の中学校に進学を希望される場合は、
入学前年度に申請が必要です。
以下 2 つの制度をご確認ください。

①就学指定校変更制度

- ・該当する事由がある場合は、希望する学校への通学が可能
(例) 兄弟姉妹関係、転居予定

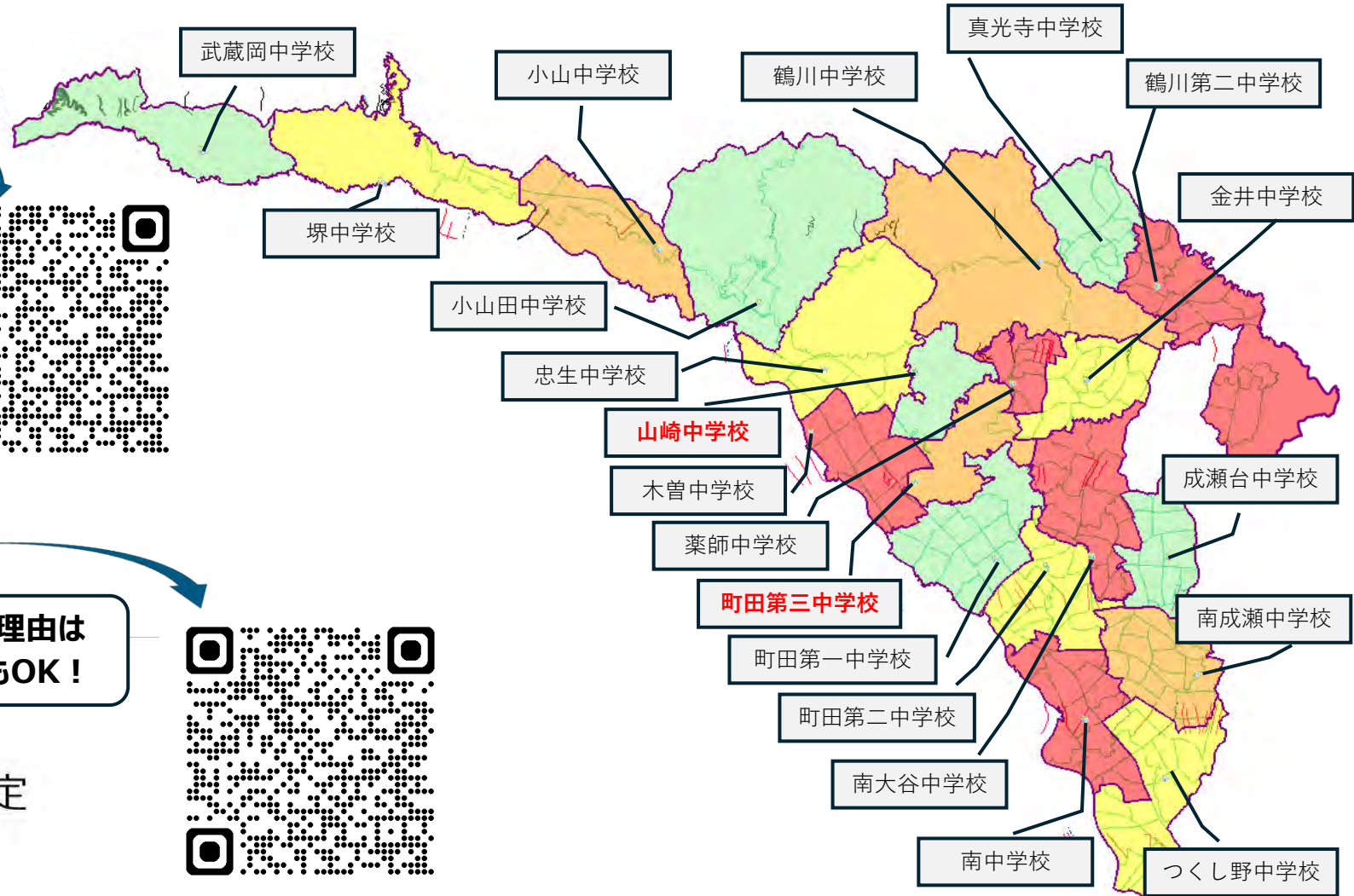
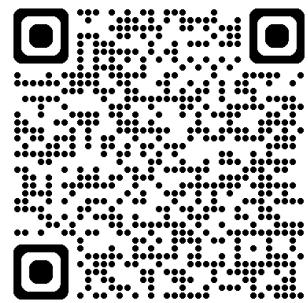


該当する事由が
ない場合は...

②通学区域緩和制度

- ・市内全域の中学校から選択可能
- ・各校、受入枠（受入れ可能な人数）を設定
⇒受入枠を超過する申請があった場合は、公開抽選を行う場合があります。

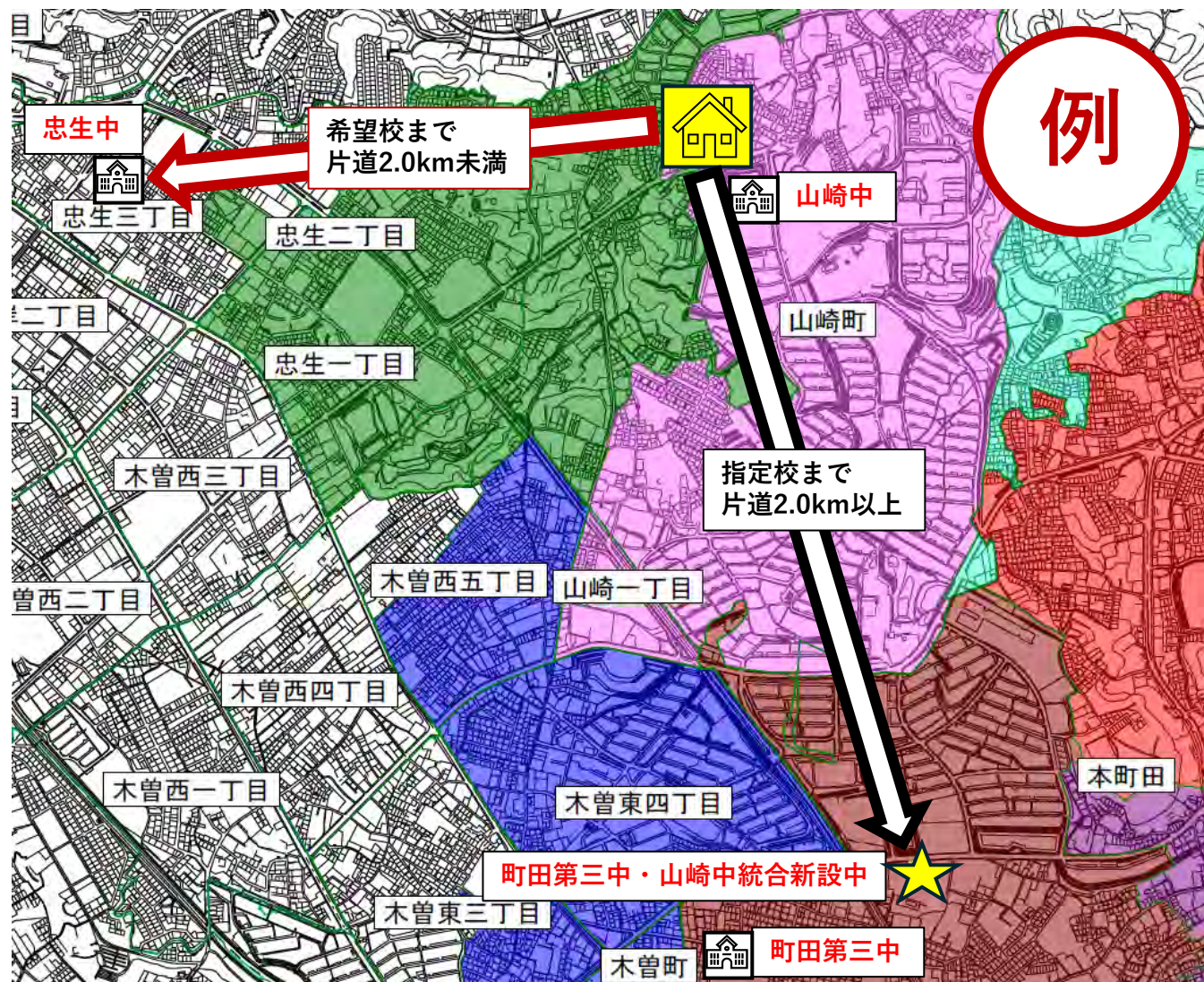
希望理由は
何でもOK！



(3)通学距離を理由とする学区外通学制度について

【2033年度に町田第三中・山崎中統合新設中学校が開校】

新入学予定者対象

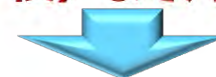


自宅からの通学距離が…

指定校（町田第三中・山崎中統合新設中学校）まで
片道2.0km以上

かつ

希望校（忠生中学校）まで片道2.0km未満の場合



通学区域緩和制度と同じ受入枠の
範囲内での受入れとなりますが、
通学区域緩和制度より優先的に入学できます。

※「指定校」までの距離計測の特例

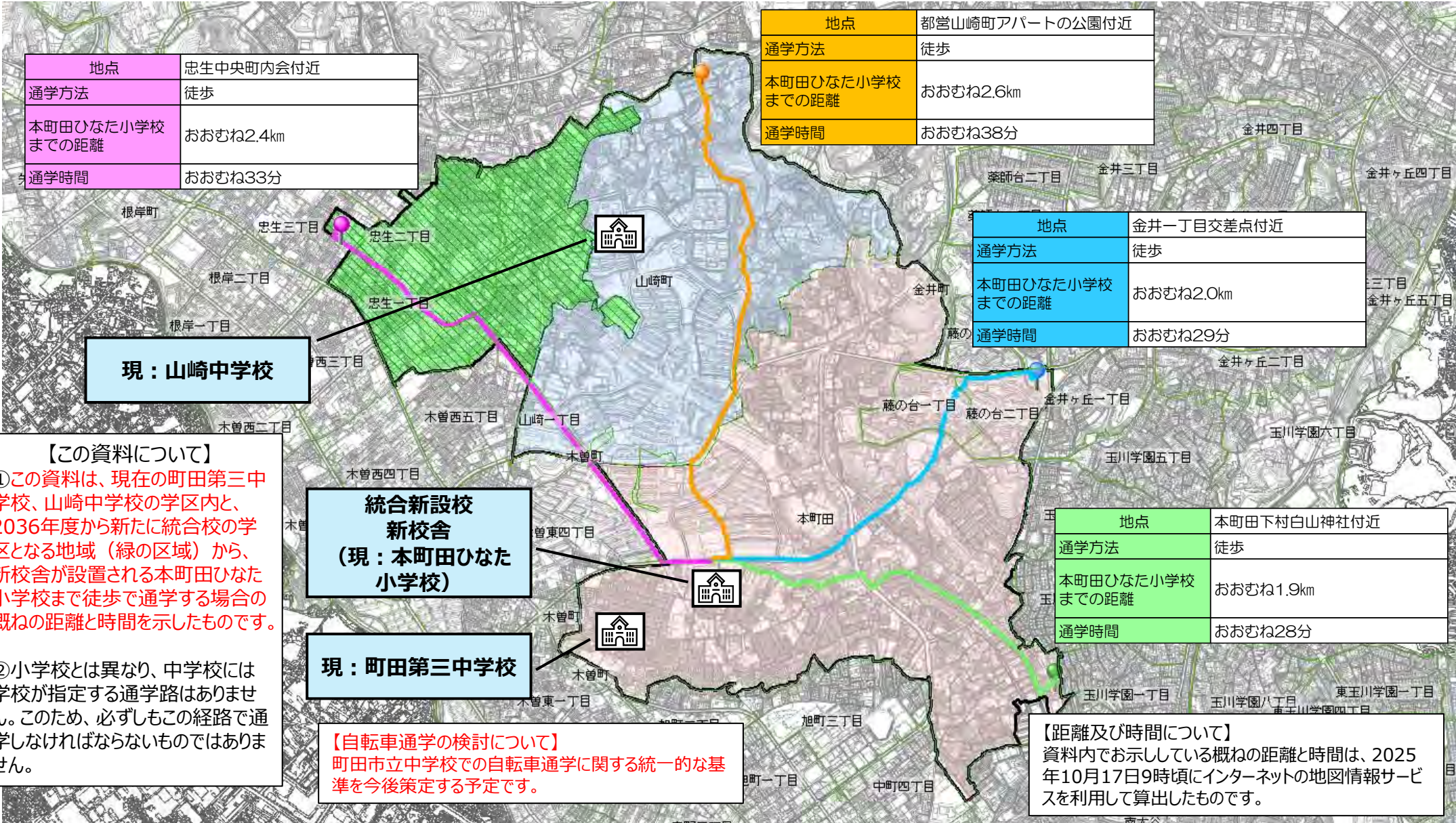
【対象者】

学校統合により中学校入学後に通学先が変更になる、
「2031～2032年度の中学校入学者」

【内容】

中学校入学時は、学校統合による通学先の変更前ですが、
「自宅から変更後の通学先（町田第三中・山崎中
統合新設中学校）まで」で距離を計測することができます。

(4)統合新設校の通学について（新校舎：徒歩）



(4)統合新設校の通学について（新校舎：バス）

バス区間

バス区間距離

乗車時間

神学校～木曽住宅

4.5km

約10分

都営山崎町アパートの公園付近から神学校バス停まで

距離

時間

おおむね0.4km

おおむね6分

バス区間

バス区間距離

乗車時間

藤の台東～原田向

2.5km

約6分

金井一丁目交差点から藤の台東バス停まで

距離

時間

おおむね0.2km

おおむね4分

通学定期代金

通学費補助金

神学校⇄木曽住宅

通学定期代金の2/3の額を補助

1ヶ月

9,330円

6,220円

3ヶ月

26,590円

17,720円

6ヶ月

50,380円

33,580円

※支給要件あり

乗車区間

神学校 ⇄ 木曽住宅

行き

帰り

7 06 16 26 36 46

13 00 15 30 45

14 00 15 30 45

15 00 15 27 39 51

16 03 19 31 41 51

17 01 19 32 49

18 04 17 27 37 47 57

19 06 16 24 39 48

木曽住宅バス停から本町田ひなた小学校まで

距離

時間

おおむね1.0km

おおむね14分

時刻表・通学定期代金について

神奈中バス公式ホームページに2025年10月17日時点で掲載されている情報となります。

乗車区間

藤の台東 ⇄ 原田向

行き

帰り

7 00 18 40

13 18 53

8 05

14 33

15 15 55

16 35

17 19 54

18 29 58

19 18 53

通学定期代金

通学費補助金

藤の台東⇄原田向

通学定期代金の2/3の額を補助

1ヶ月

7,220円

4,810円

3ヶ月

20,580円

13,720円


6ヶ月

38,990円

25,990円

※支給要件あり

通学費補助金制度に関する情報はこちらから



3-2 施設整備に関すること

学校教育部施設課

(1) 町田第三中・山崎中統合新設中学校新校舎について

① 工事スケジュール

8年前 25年度	7年前 26年度	6年前 27年度	5年前 28年度	4年前 29年度	3年前 30年度	2年前 31年度	1年前 32年度	【統合】 33年度
	基本計画	基本設計 解体設計	実施設計 解体工事	実施設計 擁壁工事※	新築工事			新校舎 使用開始

※設計の中で実施の有無を判断します。

② 新校舎整備イメージ

普通教室

板書面・投影面を兼用できる
ホワイトボードを整備

机の間隔を確保できるゆとり
ある教室の広さを確保



大きなカバンや持ち物が入る
十分な収納スペースを確保

普通教室の面積64㎡
→80㎡以上

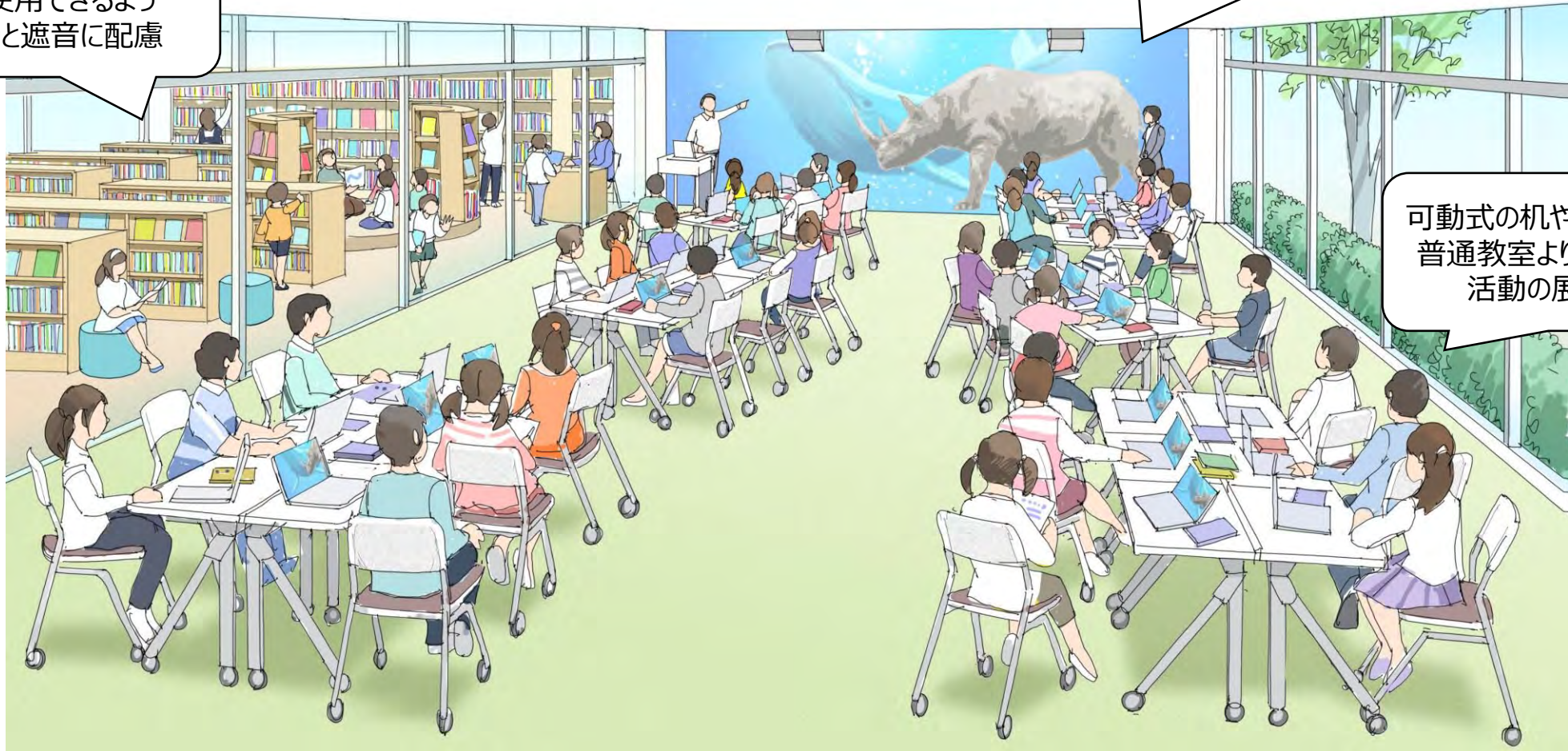
ラーニングセンター

図書や多様なメディアを活用しながら協働的な学習を展開できるラーニングルームを整備

図書室の閲覧スペースと
同時に使用できるよう
間仕切りと遮音に配慮

大型提示装置で壁面全体に
教材や動画などの投影が可能

可動式の机や椅子を使用し、
普通教室よりも多様な学習
活動の展開が可能



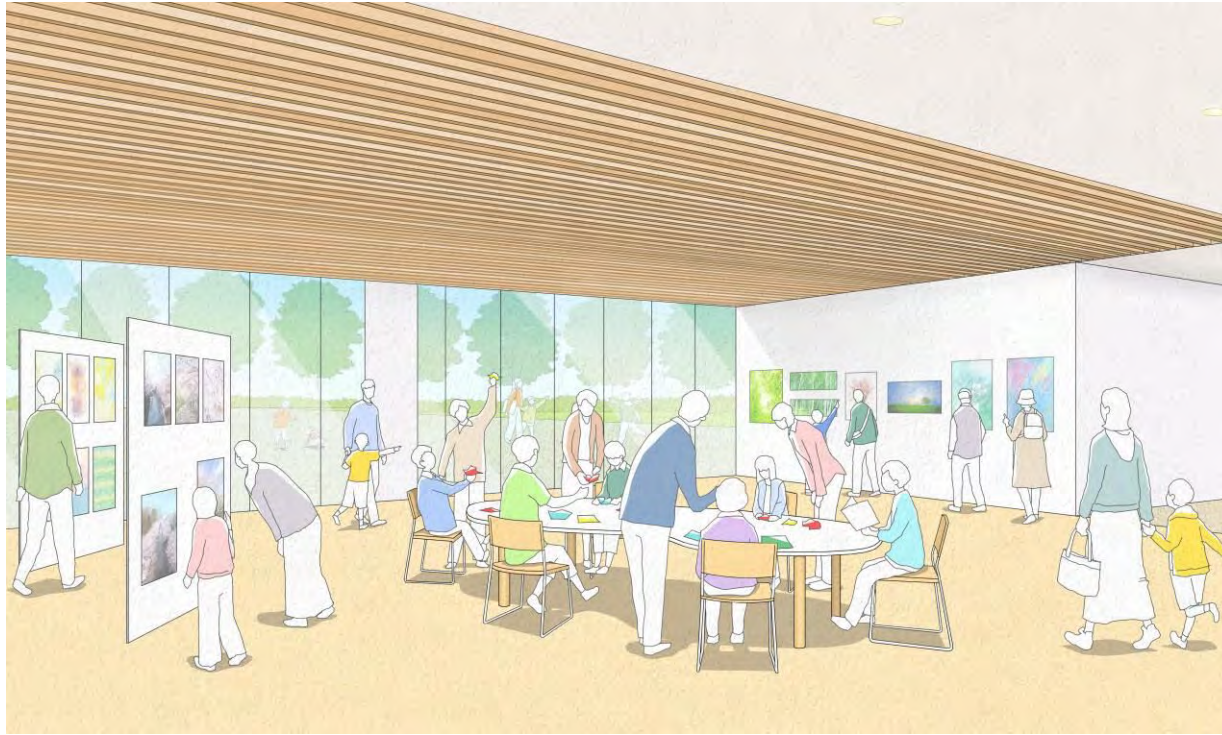
職員室

すべての教員や支援人材が1つの職員室で執務することができる面積（3.5教室以上）で整備



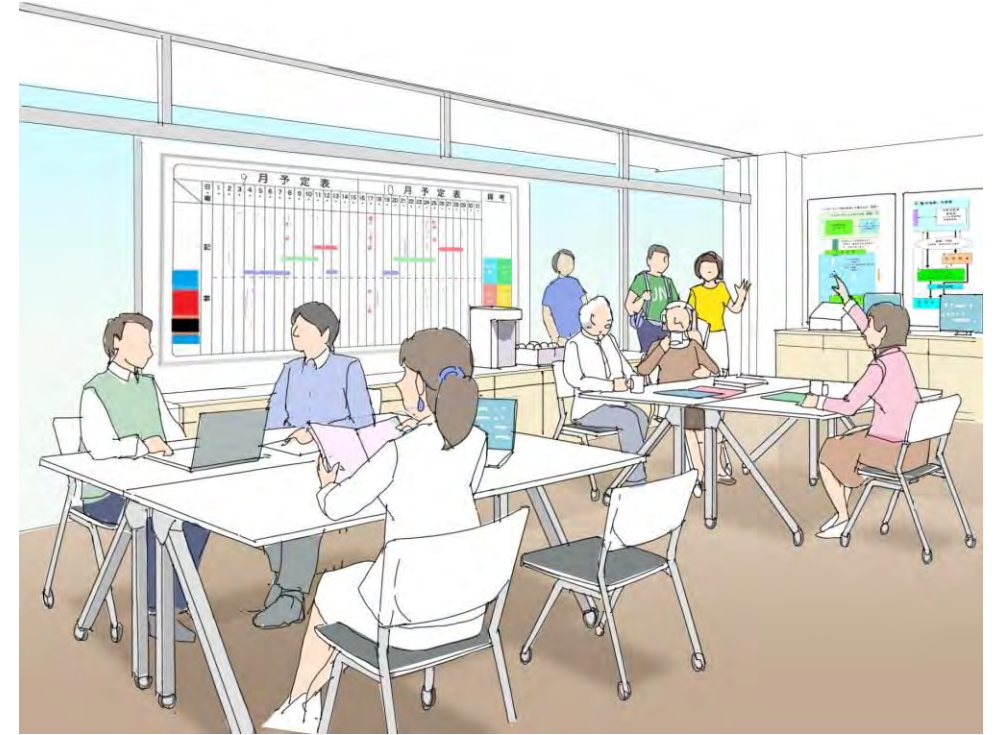
地域の活動拠点

教育活動を支援する学校支援ボランティア等の活動・準備スペースを整備

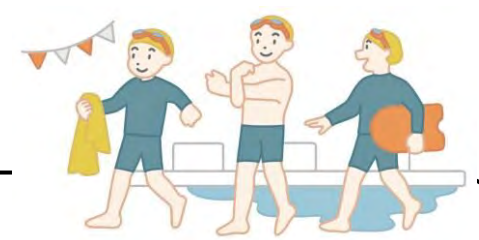


コミュニティールーム

学校運営協議会（コミュニティスクール）をはじめとした学校と地域の協働の拠点を整備



(2) プールの屋内化・集約化について



学校プールの教育環境の向上及びプールの設置や維持管理にかかる費用の軽減を図るため、プールの屋内化・集約化を基本的な方針として

「今後の町田市立小中学校のプール整備方針」を策定しました。

この方針に基づき、統合新設中学校では、**プール拠点校**として、他の中学校も利用する予定です。

学校名	2028	2029	2030	2031	2032	2033
山崎中	既存校舎の屋外プール					
町田第三中	既存校舎の屋外プール					
統合校						屋内プール

3-3 学校生活に関すること

学校教育部指導課

(1)成績について

現状

町田市の中中学校では、**絶対評価**で成績をつけています。
町田第三中学校も山崎中学校も3学期制を採用しており、テスト期間も同時期に行っています。

統合に向けて

統合前から両校で指導計画や評価の規準等を可能な限り合わせていけるようにします。

(2) 教員配置について

現状

教員の人事は、教員の在校年数や経験などをもとに、町田市教育委員会が異動計画案を作成し、教員の任命権者である東京都教育委員会へ提出します。
東京都教育委員会は、各自治体から提出された異動計画案を基に、教員の異動を検討・決定します。

統合に向けて

町田市教育委員会からは、統合直後の生徒の環境が急激に変わらないよう、統合元となる学校の教員をバランスよく配置できるような配慮を東京都教育委員会に要望します。



(3)標準服について

現状

町田第三中学校・山崎中学校ともに、制服や体操服等の学校指定品は異なります。

統合に向けて

学校統合に向け、新しい標準服を制作します。生徒や保護者からご意見を伺い、検討していきます。



- ※ 統合年度に第2学年、第3学年になる生徒については、標準服を含む現在の学校指定品の使用が可能です。
- ※ 兄弟やお知り合い等から譲り受ける「おさがり」の扱いについても検討します。

(4)部活動について

現状

活動時間は町田市の部活動方針において、平日は2時間程度となっており、活動日数については、週当たり2日以上 の休養日（平日及び週休日に少なくとも1日）を設けることとなっています。

	町田第三中学校	山崎中学校
平日の活動終了時間(夏季)	18:30	18:30
平日の活動終了時間(冬季)	18:00	18:00
吹奏楽部	○	○
美術部	○(イラスト)	○
英語部	○	×
家庭科部	○	×
理科部	○	×
パソコン部	×	○
体験活動部	×	×

	町田第三中学校	山崎中学校
サッカー部	○	○
軟式野球部	○	×
バスケットボール部	○(男子)	○
バドミントン部	○	○
バレーボール部	○(女子)	×
卓球	○	○
陸上競技部	×	○
テニス部	○(硬式)	○(ソフト)

統合に向けて

両校の部活動が円滑に統合できるように、事前の交流等も含めて進めていきます。

(5)異なる学校行事・教育活動について

現状

町田第三中学校・山崎中学校で学校行事や教育活動などの日程や内容など異なる事があります。

統合に向けて

統合後に円滑に学校生活を送ることができるよう、事前に両校で年間の予定や学校行事を合わせていきます。



3-4 学校給食に関すること

学校教育部保健給食課

中学校給食について

2025年4月から、町田第三中学校・山崎中学校の給食は町田忠生小山エリア中学校給食センターから「全員給食・食缶形式」で提供しています。

統合後も、町田忠生小山エリア中学校給食センターから運搬し、中学生に給食を提供します。

※食缶形式とは、おかずや汁を保温性の高い「食缶」に入れて、各学校に給食を届ける方式です。



(参考) 現在の食缶形式給食 31

3-5 特別支援学級・サポートルームに関すること

学校教育部教育センター

(1) 特別支援教育～現状～

町田第三中学校

■特別支援学級

知的障がい特別支援学級 なし

自閉症・情緒障がい特別支援学級
4学級 25名
※2025年5月1日現在

■サポートルーム

拠点校の木曽中学校より教員を派遣

山崎中学校

■特別支援学級

知的障がい特別支援学級 3学級 19名
※2025年5月1日現在

自閉症・情緒障がい特別支援学級 なし

■サポートルーム

拠点校の木曽中学校より教員を派遣

※サポートルームでは、拠点校の教員が指導にあたっています。

(2)特別支援教育～学校統合後の想定～

町田第三中・山崎中統合新設中学校

■特別支援学級

知的障がい特別支援学級 ⇒ 統合新設中学校に継続して設置

自閉症・情緒障がい特別支援学級 ⇒ 統合新設中学校に継続して設置

肢体不自由学級 ⇒ 町田第一中学校への入学

■サポートルーム ⇒ 統合新設中学校で継続して対応

■難聴学級指導 ⇒ 町田第二中学校の教員が巡回指導

(3)特別支援教育～統合に向けた取り組み～

安心して統合を迎えるための準備

新校舎への引越しなど、環境変化による影響が想定されます。事前に使用する教室や校舎を確認し実際に活動したり、事前交流することで生徒の不安を軽減します。



3-6 避難施設に関すること

(1) 避難施設の考え方について

工事期間中は、新設中学校予定地（現・本町田ひなた小学校）は避難施設として利用できないため、自主防災組織の皆さまとの話し合いや避難者推計の結果を踏まえ、**周辺の小中学校等**にて**代替となる避難施設を確保**します。

また、閉校となる学校跡地には、避難施設機能を引き継いでいきます。

今後のスケジュール

2026年度： **自主防災組織ごとに**工事期間中の避難施設を決定

2027年度： 新たな避難施設で避難施設関係者連絡会及び避難施設開設訓練の実施

2028年度： **新設中学校予定地（現・本町田ひなた小学校）が避難施設として利用できなくなる**ため、周辺の避難施設に避難していただきます。

(2)地震災害時の避難施設について

新設中学校予定地（現・本町田ひなた小学校）の代替避難施設（案）

2028年度～2032年度

町田第三中学校、本町田ひなた小学校（旧・本町田東小学校）、
ひなた村、忠生第三小学校

今後のスケジュール

位置	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
町田第三中学校・ 山崎中学校	避難施設			避難施設					学校跡地に 避難施設機能引継ぎ	
新設中学校予定地 （現・本町田ひなた 小学校）	避難施設			工事期間 （避難施設利用不可） ※代替避難施設への避難					避難施設	

(3)風水害時の避難施設について

新設中学校予定地（現・本町田ひなた小学校）の代替避難施設（案）

2028年度～2032年度

町田第三中学校、忠生第三小学校、木曽山崎コミュニティセンター、ひなた村、サン町田旭体育館

今後のスケジュール

位置	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
町田第三中学校・山崎中学校	避難施設			避難施設					学校跡地に 避難施設機能引継ぎ	
新設中学校予定地 （現・本町田ひなた小学校）	避難施設			工事期間 （避難施設利用不可） ※代替避難施設への避難					避難施設	

3-7 学校跡地に関すること

政策経営部企画政策課
学校教育部新たな学校づくり推進課

(1) 町田第三中学校跡地活用検討について

学校は、災害時の避難施設や、地域活動の場としても身近な場所です。
そのため、地域の皆さまのご意見を伺いながら、活用を検討します。
新しい学校をつくるための基本計画の検討着手に合わせて、検討を開始します。

2026年度～

活用検討

2033年度～

校舎等の解体、整備、跡地活用

町田第三中学校閉校
(2033年3月末)

(2) 山崎中学校について

2033年度から山崎中学校校舎のリニューアル工事を行い、2035年度から山崎小学校と七国山小学校の統合新設小学校が改修後の校舎の使用を開始します。

3-8 学校開放に関すること

学校開放について

現・本町田ひなた小学校の校地に、2030年度から2032年度までの期間で新校舎を建設し、2033年度から、町田第三中学校と山崎中学校の統合校として、運用を開始します。これにより、2033年度以降、**両中学校で活動する団体は、活動場所を移動または変更する必要があります。**

【市からのお願い】

- 各団体が譲り合って活動できるよう、**利用調整にご協力**をお願いします。
- 工事に伴い、学校敷地内で保管している**倉庫や物品の引き取り、整理**をお願いします。

位置	2030	2031	2032	2033	2034
現・本町田ひなた小学校 (旧・本町田小学校) 用地	校舎解体及び新築工事			新校舎での運用開始	
町田第三中学校	町田第三中学校開放			学校開放利用終了	
		倉庫・物品整理 活動体利用調整			
山崎中学校	山崎中学校開放			学校開放利用終了	
		倉庫・物品整理 活動団体利用調整			

問い合わせ内容	問い合わせ先	
新たな学校づくり全般に関すること	新たな学校づくり推進課	042-785-5471
通学に関すること	学務課	042-724-2176
施設整備に関すること	施設課	042-724-2174
学校生活に関すること	指導課	042-724-2179
学校給食に関すること	保健給食課	042-724-2177
特別支援学級・サポートルームに関すること	教育センター	042-793-3057
避難施設に関すること	防災課	042-724-2107
学校跡地に関すること（町田第三中学校跡地）	企画政策課	042-724-2103
学校開放に関すること	スポーツ振興課	042-724-4036